



学校便り

きささげ

聖南中学校 令和5年8月25日(金) No.5



2学期も よろしくお祈いします！

この夏は「暑いねえ。今年は特におかしいよね？」というような会話が交わされたことでしょうか。本当に暑いですね。休み中は連日、35度前後で、30度なら今日は涼しいとすら感じてしまうほどでした。お盆が明けて少しは暑さも落ち着くかと思われましたが、9月の半ばまでは暑さが続くという情報も。そんな暑さの中で2学期がスタートしました。それでも生徒のみなさんは明るい笑顔で登校して、元気にあいさつをしてくれました。休み中も暑さに負けずに部活動や学習会、文化祭の準備、水やり当番などにがんばる姿をたくさん目にしました。中には学習のわからないところを個人的に質問に来た人もいて、すばらしいと感じていました。充実した夏休みを過ごすことはできたでしょうか。筑北未来塾に参加しているみなさんも、集中してよく頑張っていたようです。いいぞ！聖南中生！！

2学期は最大行事の文化祭をはじめ、あずまやタイム、善光寺街道イベントなど多くの活動があり、実り多い学期です。様々なことを吸収して大きくステップアップしてほしいです。みなさんの活躍におおいに期待しています。

この夏休みは暑さを避けて比較的涼しい環境の中で過ごすことが多かった人もいたのではないのでしょうか。それが学校が始まったとたんに、登下校で暑い中歩き、放課後の部活動も新人戦や諸発表に向けて時間いっぱい取り組みます。夏バテや体調不良にならないよう、睡眠をしっかりとって元気に過ごしてほしいです。学校でも熱中症にならないよう、気を配っていきたいと思います。2学期もよろしくお祈いします。

始業式 2学期の目標を堂々と発表してくれました

始業式には、3名の生徒が2学期の目標を発表してくれました。これまでの自分を振り返り、それぞれしっかりとした目標を紹介してくれました。3名に共通していたのが、「文化祭に向けてがんばりたい」「学習をがんばりたい」ということでした。全校で力を合わせて素晴らしい文化祭ができそうです。今からとても楽しみです。



3年生がじゃがいもの収穫をしてくれました

7月20日（1学期終業式前日）の暑い中、3年生ががんばってじゃがいもの収穫をしてくれました。4月に技術科の授業の一環で植え、世話をしてきたじゃがいもです。今年もたくさん収穫することができました。これから給食のじゃがいも料理に使われます。みんなが大好きな「カレー」「こんこんころっけ」「みそポテト」などのいろいろなメニューでおいしく食べられるのが今からとても楽しみです。

<お知らせ>

保・小・中合同引き渡し訓練について

7月中旬に引き渡し訓練についての通知をお配りしておりますので、詳しくはそちらをご参照ください。当日はhome&schoolのアプリで訓練開始のメールを配信しますので、アプリを開いてメッセージを受け取ってください。8月28日(月)正午に試験メールを配信する予定です。届いていなかったり、開けなかつたりする場合は当日までに学校に連絡をお願いします。

村内全体での実施ですので、できる限りご参加をお願いします。どうしてもご都合がつかず、当日迎えに来られない場合は担任までご相談ください。

<学校長の話(2学期始業式)>(抜粋)

聖南中学校の学校目標は「質実剛健にして道を拓く」です。「質実剛健」を辞書で調べると、「飾り気がなくて誠実で、心も体もたくましくて健やかなこと」、とのこと。では「道を拓く」…、「道を拓く」とは何をあらわしているのでしょうか。



この夏休み中、「青柳の大切り通し」に行ってきました。これまで写真では見ていたものの、実際に見て大変感動しました。私は専門が社会科ですので、全国の歴史遺産・文化遺産をたくさん見てきましたが、青柳の大切り通しは筑北村が全国に誇りうる素晴らしい遺産であると断言できます。この「大切り通し」が拓かれたのは天正8年。天正8年の前後の歴史的な出来事は、天正10年には本能寺の変で織田信長が明智光秀に殺され、天正12年には小牧・長久手の戦いで、羽柴(豊臣)秀吉と徳川家康が戦うなど「安土・桃山時代」の真ただ中。そんな440年前、皆さんのご先祖は、ノミで固い岩山をコツコツと削り、道を拓いたのです。それにつけても驚くのは、この堅く厚い岩山を削って道を作る、という発想。常識的に考えれば、遠回りした方が楽と考えるのではないのでしょうか。更に驚くべきは人力だけで実現した、当時の人々の努力。切り通しの岩肌には無数の「ノミ痕」が残っており、当時の人々が一振り一振り力を込めて堅い岩盤に立ち向かった苦勞を感じることができます。なぜ、こんな苦勞をしてまで道を拓いたのか？

江戸時代に発行された各地の名所を記した書物「善光寺道名所図会」には大切り通しを取り上げられており、そこには「是に依て、旅人牛馬の往来も煩しき事なく、野を越え山を越して麻績宿に到る」と記されています。この切り通しにより、地元の人々や旅をする人々が「より早く、そして安全」に目的地へ向かうことができたことが想像できます。この道を拓いた人々は、少しでも早く、そして安全に地域の人々や旅人が通行できるように、との思いで難工事に挑み、道を拓いたに違いありません。

道と言えばもう一つ注目しているのが「筑北スマートインター」。村の皆さんはもちろんかと思いますが、私も開通を心待ちにしています。この筑北スマートインター、平成27年に設置をお願いするための準備委員会が立ち上がってから既に9年もの月日が経っていますが未だ完成には至りません。しかし、このスマートインターが開通したあかつきには、より早く目的地に向かうことができるという利便性はもちろん、地域間交流の促進、災害緊急時の避難・輸送路の確保、物流網強化による企業誘致促進などが見込まれ、筑北村にとっては大変重要なインフラになることは間違いありません。

こうやって、筑北村に関わる過去と現在の「道が拓かれる」姿を見てみると、「道は簡単には拓けない」ということをしみじみ感じます。そして「道を拓く」ということは、自分自身が今以上に豊かな人生を歩むため、もしくは世の中の人々が、今以上に豊に生きるための手だて、と言えるのではないかと思います。

聖南中学校での勉強や生活を通して、飾り気がなく誠実で、心も体もたくましくて健やかであって、自分のため、そして人のために苦勞を承知で、目標、未来と言い換えてもいいかもしれませんが、未来に向かって突き進んでいける心の強さと人格を身に付ける。それが「質実剛健にして道を拓く」ということではないかと考えますが、皆さんはどう思いますか。

んな力を皆さんにつけてもらうため、1年間の聖南中の設計図「グランドデザイン」では「つながる～ひと・もの・こと～」ということを大切なキーワードとして全体計画を考えています。クラスの仲間とのつながり、先輩・後輩とのつながり、地域の人々とのつながり、聖南中の過去や未来とのつながり、さまざまな事象とのつながり…。つながる対象はいろいろとありますが、様々なひと・もの・こととつながりながら、

- ①「みんなで作りあげるワクワクする授業」。
 - ②「認め合いみんなで伸びるインクルーシブ教育」。
 - ③「ふるさと筑北村をおもい探究する学習」。
- の3点について特に大切に取り組む計画です。

本日から1年間で最も長い2学期がスタートします。学期の初めにあたり、それぞれ目標を立てるかと思いますが、頭の隅に「質実剛健にして道を拓く」も置いておいていただき、それぞれの目標達成に向け頑張ってくださいと思います。